

尚志館高校
INSPIRE
インスピ
タイムズ
NINE

メモリアルマッチ特集

3年生 それぞれの胸の内

▼新型コロナウイルスの感染拡大によって、ほとんどすべての部活動の大会が中止になってしまった。その代替の大会として、メモリアルマッチが各部活動で開催された。この大会をもって部活動を引退する3年生がほとんどだ。

▼部員全員で目指してきた目標が失われてしまったのはものすごく残念であるが、1つの区切りとしてメモリアルマッチが開催できたことは、引退していく生徒にとって少しでもこの雪辱を果たす舞台となったであろう。

▼そこでメモリアルマッチを終え、引退を迎えた3年生部員へのインタビュー特集を生徒会新聞第2号に引き続き紹介していく。1、2年生は3年生部員からの思いをしっかりと引き継いでいきたい。



●永江隼人（商業科3年・剣道部）
僕は、1年生の頃から2年間剣道部に所属していました。部員7人で日々の練習に励み、結果として最後になってしまった地区大会では優勝することができました。練習ができない日々が続く、突然の引退試合が決まったことへの戸惑いがありました。自分の実力を出し切ることができ、悔いなく引退できました。これからは気を引き締めて、全力で勉強に励みたいと思います。

●久保田日菜（看護科3年・バドミントン部）
約2年半の部活動を終えてみると今まで頑張ってきたことがなくなってきた感じがすごく穴が開いた感じで、「あー終わるのって早いなあ」という感じです。「文武両道」という言葉を胸に日々正直に勤勉し、屈折撓まず、夜遅い時間まで練習して疲れて、ポテッと寝ていたあの2年半をきっと忘れることはないと思います。たぶん。周りの人に感謝感激雨あられです。

発行元
尚志館高校
発行日
7月29日
文責
平松・大石



●本村千咲（医療福祉科3年・卓球部）
2年と3か月の部活の最後は部員全員で試合をして終えました。自粛期間で練習をすることができず、大会が開かれることがないと知ったときはとても悲しかったです。私たちは、人数は少なかったですが、それぞれが目標に向けて頑張っていました。これからは進学や就職などで大変になってきますが、それぞれの目標に向けて力を注いでいきたいです。



●松尾凜太郎（商業科3年・男子バスケット部）
2年半バスケットボール明け暮れていた日々も終わり、引退を迎えました。この2年半の中の練習や試合の中でうまくいかないことに不満を募らせる毎日でした。それでも、チームメイトの声援であったり、試合で勝った時の喜んでいる姿が一番のモチベーションになっていました。そんなチームの一員としてピッチに立てたことが僕にとって一生の財産です。



●竹下桃代（普通科3年・女子バスケット部）
たくさんの人たちのおかげもあって大きな区切りを迎えることができました。結果はいい成績とは言えませんが、みんなで最後まであきらめずにパスをまわして決まったシュートは、一人の力で決めるシュートより何倍もうれしかったです。後輩たちはこれから新体制のスタートで色々大変だと思っけと頑張ってもらいたいです。

社会への目
皆さんはSNSを普段使用しているだろうか。おそらくほとんどの生徒が使用したことがあるだろう。近年のSNSで発信する際に匿名であること、いいことに誹謗中傷など責任のない発言をす

るものが増えてきているように感じる。最 受け取った人に大きな傷を負わせて近著名人がSNS上での誹謗中傷によって自 しまうことを心に留めておいてほしい。生徒の皆さんも自分のSNSの利用に命を絶つてしまったというニュースを聞いて衝撃を受けた人も多いだろう。心無い の仕方が適切か今一度見直してみても言葉を発信するのは容易だが、その言葉は はどうだろうか。



●櫛下裕大朗（普通科3年・男子バレー部）
今回、メモリアルマッチを終えると同時に、高校でのバレーボール生活が幕を閉じました。今まで当たり前に行ってきた部活動でしたが、改めて部活動ができる喜び、そしてこの2年間の楽しさ、充実を実感しました。これから残すは受験のみになります。気持ちを新たに、将来の夢をかなえるべく、今できる努力を残りの少ない学校生活で成し遂げていきます。



●大峯優花（看護科3年・女子バレー部）
「メモリアルマッチ」を通して、8年半続けてきたバレー生活に終止符を打ちました。思うように練習ができず、予定されていた試合も次々となくなりました。この大会で引退できたことにとっても感謝しています。今ままで一番楽しくプレーすることができました。これからは、それぞれの進路に向けて全力で頑張っていきたいと思っています。



●櫻井なるみ（普通科3年・ソフトテニス部）
中学校から続けてきて、大変なことや辛いこともありましたがそれ以上に楽しかったことが多く、ソフトテニスを通じていろいろなことを学ぶことができました。たくさんの人の協力のもと最後の試合を無事終えることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。後輩にバトンを渡すことができたので安心して引退し、自分の将来に向けてしっかりと勉強に励みたいです。